



忍者屋敷への道～その4～

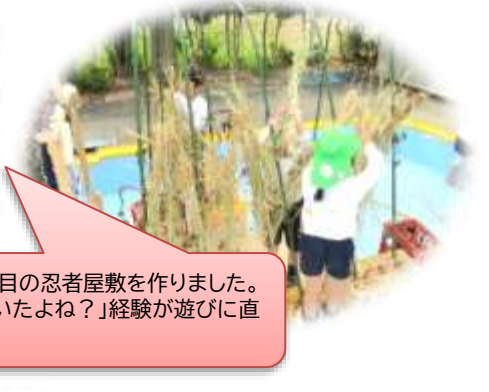
アイデア溢れる子供たちの忍者屋敷。“今日はどんな修行にしようか？”と考えることが楽しいようです。忍者の門をスタートとして、「最初はジャンプにしよう！」「どこまでジャンプしたかが分かるように目印つけておく？」「一番遠くが、“だいだいだい(大大大)にんじゃ”にしよう！」「じゃあ、一番近いのは？」「ちびにんじゃ！」「いや、ひよろひよろにんじゃの方が弱そうだよ。」「ひよろひよろしながら、そのあとの修行をするってことは？」ただ単に修行の場所を作っているのではなく、どうしたら楽しくなるのかというイメージを加えながら遊んでいました。ちなみに真ん中辺りは、“まあまあにんじゃ”でした☺『大きい⇄小さい』の2極だけでなく、微妙な間を考えたり表現できたりするところから育ちを感じますね。子供たちのイメージは膨らむばかり。どんな忍者屋敷になっていったのか紹介します！！



「ひよろひよろにんじゃってことね！」
ジャンプした場所に印をつけていました。書いてあるところを目指してジャンプしようという目標ができますね。



稲刈りを思い出して藁で2つ目の忍者屋敷を作りました。「お母さんこうやって結んでいたよね？」経験が遊びに直結しています！！



『手裏剣投げるの術』
口が開いた段ボールの中を目掛けて手裏剣を投げます。①②③3つとも入ったらクリアです！

忍者修行から生まれた新たな遊び！！

牛乳パック手裏剣を作って、手裏剣投げを楽しんでいた子供たちから、「敵に向かって投げたら忍者っぽくない？」という考えが出てきました。「それいいね！」「じゃあ、忍者の敵だから『侍』ってのはどう？」とやりとりしながら、大きな段ボールに侍を描きました。「もっとあった方がいいよ。」侍が次々に出来上がりました。忍者屋敷周辺だけでなく、園庭の至るところに侍をぶら下げ、手裏剣を投げて侍をやっつける遊びになっていきました。しばらく個々に侍をやっつけていたのですが、「チームを作って対決してみない？」という考えが生まれました。ドッジボールを存分に遊ぶ中で、チームで遊び仲間と一緒に遊ぶ楽しさを感じているからこそ出てきた考えだと思いました。「じゃあ、赤忍者対青忍者ってことね！」個々の遊びがチームでの遊びになっていく瞬間でした。始まる前には作戦を立てることも今までの経験から来ています。「最初にやっつける侍はバラバラの方がいい！」「侍より、洗濯ばさみを狙った方がいいよ。」「1人じゃなくて2人でやっつけることにしよう。」子供たちから出てくる作戦に感心して頷くばかり！！よくもここまで考えるなあと思いました。

考えることが楽しかったり、それを仲間と相談したり、勝ち負けがはっきりとついたり。遊びを創り出していくことが楽しいことが伝わってきます。「この遊びはなんていう名前なの？」「うーん…。忍者倒しゲーム！」(忍者が侍を倒すという意味らしいです☺)子供たちが新たな遊びを生み出しました！

チームで力を合わせて、侍をやっつけるぞ！！



やったあ！侍をゲットしたぞ。これでチームが勝てる！！